

平成 19 年 9 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 2 月 9 日

上場会社名 株式会社 ピクセラ (コード番号：6731 東証第 1 部)
 (URL <http://www.pixela.co.jp/>)
 問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 藤岡 浩
 責任者役職・氏名 取締役経営企画室長 御前 仁志
 TEL : (06) 6633 - 3500

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 税金費用の計上については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 9 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 10 月 1 日 ~ 平成 18 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 9 月期第 1 四半期	1,347	27.6	332	-	387	-	403	-
18 年 9 月期第 1 四半期	1,861	25.6	118	-	149	-	159	-
(参考) 18 年 9 月期	8,623		323		588		541	

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 9 月期第 1 四半期	37	01	-	-
18 年 9 月期第 1 四半期	14	67	-	-
(参考) 18 年 9 月期	49	61	-	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期の売上高は、13 億 47 百万円（前年同期比 27.6%減）となりました。製品売上部門においては、前期末から本格化した地上デジタル放送対応キャプチャーボードの普及の恩恵を大きく受けることとなったものの、新 OS「ウィンドウズビスタ」の発売を目前にしたパソコンの買い控えが影響し大幅な減収となりました。また、ソフトウェアロイヤリティ部門においては、デジタルカメラ向けのソフトウェア製品が伸び悩み、全体として減収となりました。

利益面につきましては、前述の新 OS 発売の影響によりキャプチャーボードの販売が停滞し、数量効果が得られず原価低減も進まなかったこと、既存製品や新製品を新 OS に対応させるための開発投資を行ったこと等により、営業損失 3 億 32 百万円（前年同期 1 億 18 百万円の損失）、経常損失 3 億 87 百万円（前年同期 1 億 49 百万円の損失）、第 1 四半期純損失 4 億 3 百万円（前年同期 1 億 59 百万円の損失）となりました。

当社グループでは、今回の新 OS の発売によりパソコン市場が活性化されると考えておりますが、一方でパソコンの販売動向に左右されない収益構造の構築に向け、AV 家電、モバイル機器等の分野への進出を着実に進めております。具体的には、昨年 10 月にテレビ向けの組込み地デジボードを開発、サンプル出荷を開始したほか、昨年末にはスマートフォン用ワンセグチューナーユニットの販売を開始いたしました。

今期は引き続きこのような新しい市場に向けた製品の開発を加速させ、いち早く製品化することで業績に結び付けるようグループ全社を挙げて取り組んでまいります。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年9月期第1四半期	7,466	5,340	71.5	483 12
18年9月期第1四半期	8,640	5,600	64.8	513 89
(参考) 18年9月期	8,371	5,846	68.9	544 37

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年9月期第1四半期	477	463	99	1,763
18年9月期第1四半期	816	112	24	2,502
(参考) 18年9月期	635	497	795	1,877

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

・キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、平成18年9月期末に比べ1億13百万円減少し、17億63百万円となりました。主な内訳は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により減少した資金は、4億77百万円となりました。これは主に、売上債権の減少が3億15百万円あったものの、税金等調整前第1四半期純損失が3億86百万円、仕入債務の減少が3億40百万円等の資金の減少があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により増加した資金は、4億63百万円となりました。これは主に、有価証券の売却による収入が5億1百万円、有形固定資産の取得による支出が43百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、99百万円となりました。これは主に、配当金の支払等によるものであります。

3. 平成19年9月期の連結業績予想（平成18年10月1日～平成19年9月30日）

平成18年11月17日公表の業績予想に変更はありません。

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は業況の変化等により、予想数値と異なる可能性があります。

【参 考】

平成 19 年 9 月期第 1 四半期財務・業績等の概況（個別）（平成 18 年 10 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

（百万円未満切捨）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期） 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 9 月期第 1 四半期	1,347	27.6	300	-	301	-	328	-
18 年 9 月期第 1 四半期	1,861	25.6	128	-	111	-	121	-
（参考）18 年 9 月期	8,697		62		61		38	

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
19 年 9 月期第 1 四半期	7,576	5,475	72.3	501 63
18 年 9 月期第 1 四半期	8,734	5,893	67.5	540 86
（参考）18 年 9 月期	8,439	5,939	70.4	544 37

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示します。

（製品分類別売上高）

（単位：百万円）

	平成 19 年 9 月期 第 1 四半期		平成 18 年 9 月期 第 1 四半期	
	金額	構成比（%）	金額	構成比（%）
製品売上	1,074	79.7	1,516	81.5
ソフトウェアロイヤリティ	237	17.6	266	14.3
受託開発	35	2.7	78	4.2
合計	1,347	100.0	1,861	100.0

添付資料

（要約）四半期連結貸借対照表、（要約）四半期連結損益計算書など

以 上

〔添付資料〕

1 .(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年9月期 第1四半期末)		前年同四半期 (平成18年9月期 第1四半期末)		(参考) 平成18年9月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)						
流動資産						
現金及び預金	1,763		2,502		1,877	
受取手形及び売掛金	3,147		4,253		3,463	
たな卸資産	1,082		607		1,042	
その他	220		262		720	
流動資産合計	6,214	83.2	7,626	88.3	7,104	84.9
固定資産						
有形固定資産	189		159		156	
無形固定資産	114		43		123	
投資その他の資産	947		811		987	
固定資産合計	1,251	16.8	1,013	11.7	1,267	15.1
資産合計	7,466	100.0	8,640	100.0	8,371	100.0
(負債の部)						
流動負債						
買掛金	1,498		2,130		2,050	
その他	413		524		417	
流動負債合計	1,912	25.6	2,654	30.7	2,467	27.7
固定負債						
役員退職慰労金引当金	213		187		206	
持分法適用に伴う負債	-		198		-	
固定負債合計	213	2.8	385	4.5	206	2.5
負債合計	2,125	28.5	3,040	35.2	2,525	30.2
(純資産の部)						
株主資本						
資本金	2,562	34.3	-	-	2,560	30.6
資本剰余金	3,218	43.1	-	-	3,217	38.4
利益剰余金	334	4.5	-	-	155	1.9
自己株式	127	1.7	-	-	124	1.5
株主資本合計	5,321	71.2	-	-	5,808	69.4
評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金	54	0.7	-	-	46	0.6
為替換算調整勘定	6	0.1	-	-	5	0.1
評価・換算差額等合計	48	0.6	-	-	41	0.5
少数株主持分	66	0.9	-	-	79	0.9
純資産合計	5,340	71.5	-	-	5,846	69.8
負債及び純資産合計	7,466	100.0	-	-	8,371	100.0
(資本の部)						
資本金	-	-	2,556	29.6	-	-
資本剰余金	-	-	3,212	37.2	-	-
利益剰余金	-	-	52	0.6	-	-
その他有価証券評価差額金	-	-	2	0.0	-	-
為替換算調整勘定	-	-	8	0.1	-	-
自己株式	-	-	127	1.5	-	-
資本合計	-	-	5,600	64.8	-	-
負債及び資本合計	-	-	8,640	100.0	-	-

2 .(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成 19 年 9 月期 第 1 四半期)	前年同四半期 (平成 18 年 9 月期 第 1 四半期)	増 減		(参考) 平成 18 年 9 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	1,347	1,861	514	27.6	8,623
売上原価	1,085	1,493	408	27.3	6,667
売上総利益	262	367	105	28.6	1,956
販売費及び一般管理費	595	486	109	22.4	2,280
営業損失	332	118	-	-	323
営業外収益	5	21	16	76.2	33
営業外費用	61	51	10	19.6	298
経常損失	387	149	-	-	588
税金等調整前四半期(当期) 純損失	386	149	-	-	588
税金費用等	17	10	7	70.0	47
四半期(当期)純損失	403	159	-	-	541

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成19年9月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年9月期 第1四半期)	(参考) 平成18年9月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益	386	149	588
減価償却費	25	16	154
持分法による投資損失	52	47	243
売上債権の減少額(増加は)	315	633	189
たな卸資産の減少額(増加は)	33	137	540
仕入債務の増加額(減少は)	340	78	214
その他	110	38	123
営業活動によるキャッシュ・フロー	477	816	635
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	43	5	86
投資有価証券の取得による支出	6	102	132
その他	500	4	279
投資活動によるキャッシュ・フロー	463	112	497
財務活動によるキャッシュ・フロー			
配当金の支払による支出	102	25	116
その他	3	0	912
財務活動によるキャッシュ・フロー	99	24	795
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	16	19
現金及び現金同等物の減少額	113	937	317
現金及び現金同等物の期首残高	1,877	3,440	3,440
現金及び現金同等物の期末残高	1,763	2,502	1,877